

⚠ 使用上の注意

●衣類の洗濯表示をよく確認の上、この「取扱説明書」の使い方、ご注意に従って、ご使用ください。●洗濯機を使用される場合は、洗濯機の取扱説明書をよく確認の上、ご使用ください。●用途以外の目的では使用しないでください。●変色や色落ちの恐れがある場合は目立たない部分で確認してからご使用ください。●皮膚についた場合は水で洗い流してください。●目に入った場合は直ちに十分な水で洗い流してください。●飲み込んだ場合は無理に吐かさず、口をすすいでください。●いずれの場合も、異常がある場合は医師の診察を受けてください。その際本品を持参してください。●荒れ性の方、長時間使用の場合は炊事用手袋を使用してください。●洗濯機のフタ等に付着した場合は水ぶきしてください。

⚠ 保管上の注意

●高温多湿の場所、直射日光に当たる場所を避け、冷暗所に保管してください。●幼児の手の届くところに置かないでください。●液漏れ防止のため、ご使用後はキャップをきちんと閉めてください。キャップを上にして、立てた状態で保管してください。

アイメディアホームページ <http://www.aimedia.co.jp>
最新の情報をインターネット上でご覧になれます。



お客様相談室 **TEL.082-262-5531** (受付時間) 平日10:00~17:00



ニット洗い 洗剤

取扱説明書



この説明書は大切に保管し、
使用の際にはよくお読みください。

洗濯表示の確認

洗濯表示をご確認の上、ご利用ください。

旧洗濯表示



洗方のポイント

(洗濯機可) や (手洗い可) の表示の衣類が洗えます。
 の表示の衣類で下記以外が洗えます。

洗えないもの

の表示で、下記に該当する衣類。

- 1 シルク(絹)、レーヨン、キュプラ、アセテートと、これらの混紡品、皮革、毛皮。
- 2 1 以外のウール、カシミア、麻、ポリエステル、ナイロン、アクリル、ポリウレタン、ダウンなどの素材でも**以下のような衣類は洗えません。**

素 材	●アンゴラやモヘヤなどの毛足が長いもの。	装飾品・芯地	●ジャケット、コート、ネクタイなど、芯地を多く使っていたり、型くずれしやすいもの。 ●皮ボタンなど特殊なボタンがついたもの。 ●木、皮、細かな飾りなど特殊な飾りがあるもの。
表 面	●ベロア、ピロードなど起毛したもの。 ●刺繍があるもの。 ●毛足が長いもの。	色 落 ち	●水に浸けただけで色落ちするもの。 確認方法 白い布に洗剤原液をつけ、衣類の目立たない部分を白い布でたたき、布に色が移らないかどうか調べます。
加 工	●シワ加工品、エンボス(凹凸)加工品。 ●ジョーゼット、ちりめんなど。	そ の 他	●和服、和装小物。 ●洗濯表示がないもの。 ●素材が不明な衣類。

新洗濯表示



洗方のポイント

(洗濯機可) や (手洗い可) の表示の衣類が洗えます。

洗えないもの

(家庭洗濯×) の表示。
洗濯絵表示がないもの。

【新洗濯表示に関して】

2016年12月1日より、衣類等の繊維製品の洗濯表示が、変更されました。

新絵表示の詳細は、消費者庁ウェブサイトをご確認ください。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/laundry_symbols.html

WEBサイトでも情報を
ご覧いただけます。



洗濯機を使用する場合



標準使用量

水1ℓに対して洗剤1g(約2滴)

洗濯温度

洗濯表示に従って常温～30℃(常温が望ましい)

洗い方

- ①無理なく裏返す事の出来る衣類は、裏返しての洗濯をおすすめします。又、洗濯ネットの使用もおすすめします。
- ②衣類を洗濯機に入れ、洗濯機のおしゃれコース(手洗い&ドライコースで洗えるコース)などのやさしく洗うコースを選択し、洗う量に応じた洗濯水量を指定します。
- ③洗濯機の取扱説明書を確認の上、標準使用量になるよう、洗剤を入れて洗濯します。
〈例〉水30ℓ(洗濯量0.5kg)に対して洗剤30g
※衣類が水に浮く場合は、手でやさしく10回程度押し、浸けこみます。

乾かし方

P④～⑤のそれぞれの衣類の“乾かし方”を参考にしてください。



手洗いする場合①

ダウンジャケット



標準使用量

水1ℓに対して洗剤2g(約4滴)

洗濯温度

洗濯表示に従って常温～30℃(常温が望ましい)

洗い方

- ①洗濯おけなどに、衣類が浸かる程度の水を準備します。
- ②標準使用量になるよう洗剤を入れて混ぜます。
〈例〉ダウンジャケット(500g)の場合、水10ℓに洗剤20gを入れます。
- ③ダウンジャケットを裏返してジッパーを閉めます。(裏地の方が水通りが良い為)
- ④ダウンジャケットを浸けこみ、両手で40回程度押し洗います。
※ダウンを握りつぶさないよう注意します。
- ⑤ダウンに含まれた水分を手で絞り、脱水します。
- ⑥水を入れかえて、両手で20回程度押してすすぎをします。
- ⑦ダウンの片寄りをほぐし、洗濯機で3分脱水します。

乾かし方

洗濯機から取り出し、軽く振りさばいてダウンの形を整えます。裏返しのままハンガーにかけて風通しの良い日陰で吊り干しします。
※7～8割乾燥した状態で、さらにダウンの片寄りをほぐすと乾燥後の仕上がりが良くなります。
※乾燥後、コインランドリーなどでタンブラー乾燥を10分行くと、よりダウンのボリューム感が出ます。
※すすぎが不十分の場合、乾燥後に白い粉の付着が見られます。軽い水拭きで取り除けます。

手洗いする場合②

セーター・スラックスなど



標準使用量

水1ℓに対して洗剤2g(約4滴)

洗濯温度

洗濯表示に従って常温～30℃(常温が望ましい)

洗い方

- ①洗濯おけなどに、衣類が浸かる程度の水を準備します。
- ②標準使用量になるよう洗剤を入れて混ぜます。
〈例〉薄手ニット(100g)の場合、水1ℓに洗剤2g(約4滴)を入れます。
- ③たたんだ衣類を浸けこみ、やさしく**40回程度**押し洗います。
- ④水を入れかえて、やさしく**10回程度**押しすすぎをします。
- ⑤洗濯機で**30秒脱水**します。
※タオルなどには手で水分を取り除く方法もあります。

乾かし方

形を整えてから、洗濯表示に従って乾燥させます。
※セーターは元に近い形に整えてから干すことをお勧めします。そのまま干してしまうとシワが目立ちます。
※スラックスはスラックスハンガーなどの専用ハンガーで干すことをお勧めします。シワ伸びも良く仕上げが楽になります。
※風合いは柔らかくなります。(スラックスはハリが無くなる恐れがあります。)
※スラックスによっては色濃く見えることがあります。(上着との色差に注意)

縮んだ衣類の補修をする場合



標準使用量

水1ℓに対して洗剤3g(約6滴)

洗濯温度

常温

洗い方

- ①洗濯おけなどに、衣類が浸かる程度の水を準備します。
- ②標準使用量になるよう洗剤を入れて混ぜます。
- ③衣類を浸けこみます。衣類を軽く手で押さえて**よく染みこませます**。
- ④衣類を持ち上げ、縦方向・横方向に引っ張ります。
※強く引っ張り過ぎると糸切れを起こすので、適度な力で引っ張ります。
- ⑤③と④の操作を**2～3回**行います。(同じ洗剤液を繰り返し使用します)
- ⑥水を入れかえてやさしく**10回程度**押しすすぎをします。
- ⑦洗濯機で**30秒脱水**します。

乾かし方

洗濯機から取り出し、**縦横に軽く伸ばしてから形を整えて**平干し自然乾燥させます。